

ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)の運用状況

ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)

追加型投信/国内/株式

2017年6月27日

- ★ 国内株式市場では、新興市場株の物色が活発となっています。
- ★ 当ファンドでは、新興市場上場銘柄を有望な投資対象の1つと考え、独自のビジネスモデルで成長を図っている銘柄などに積極的に投資しております。

1. 新興市場が活況

新興市場の株価指数が堅調に推移

ジャスダックやマザーズなどの国内新興市場の株価指数が堅調に推移しています。ジャスダック市場の株価指数である日経ジャスダック平均株価は、2017年2月に2006年1月の高値を約11年ぶりに上回り、その後も上値を試す展開となっています。また、マザーズ市場の株価指数である東証マザーズ指数は、最高値から大きく下回る水準にありますが、2017年以降は堅調に推移しています(図表1)。

新興市場株に対する注目度が高まる

東証1部の売買代金に対する新興市場(ジャスダック市場とマザーズ市場)の売買代金の比率は6月23日に15%を超えました(図表2)。米国の利上げや英国とフランスの議会選挙など注目度の高いイベントを通過したものの、回復の勢いが鈍化する米国経済への警戒感などから主力大型株の売買が手控えられた一方、外部環境の影響を相対的に受け難い新興市場株の注目度が高まったものと考えられます。

新興市場の物色動向では、仮想現実(VR)技術や人工知能(AI)などテーマ性の強い銘柄に加え、ゲーム関連株やバイオテクノロジー関連株も活況となるなど、物色の裾野が拡大しています。

今後については、4-6月期業績の発表が本格化する7月下旬まで手掛かり材料に乏しい状況が続き、主力大型株の物色が限定的なものになると考えられることや、7月以降に新規公開銘柄の上場が相次ぐことなどから、新興市場銘柄に対する物色の好循環が続くと思われます。

2. 有望な新興市場銘柄へ積極投資

新興市場に上場する企業のなかには、オーナー経営者などの強いリーダーシップのもと、独自の強みや特色のあるビジネスモデルにより業績拡大を続ける魅力的な企業が存在します。

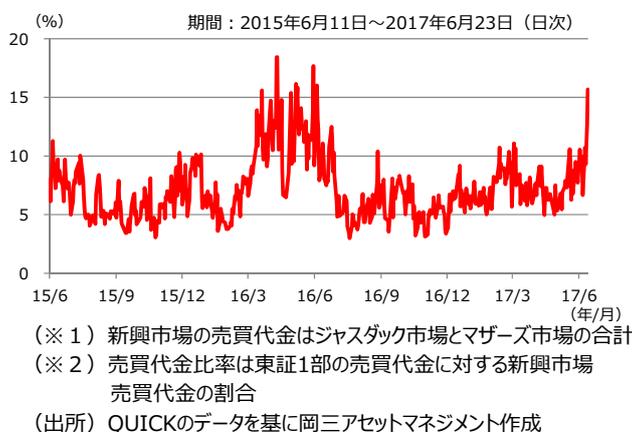
当ファンドでは、イノベーションなどにより中長期的な利益成長が期待される企業を選別するなかで、ジャスダック市場やマザーズ市場などの新興市場株にも積極的に投資しております(図表3)。

今後も、利益成長期待の高い銘柄を選別していくことで、ファンドのパフォーマンス向上に努めてまいります。

(図表1) 新興市場の株価指数推移



(図表2) 新興市場の売買代金比率



(図表3) 新興市場上場の主要組入銘柄

(2017年6月23日時点)

銘柄名	上場市場	業種	事業内容	構成比
じげん	マザーズ	情報・通信業	検索サイトを運営	4.2%
そーせいグループ	マザーズ	医薬品	医薬品開発	1.6%
CYBERDYNE	マザーズ	精密機器	ロボットスーツ開発	1.0%
スタジオアタオ	マザーズ	小売業	バッグ・財布販売	1.0%
ティーケービー	マザーズ	不動産業	貸会議室運営	0.8%
精工技研	ジャスダック	電気機器	光関連部品製造	0.7%

- (※1) 組入銘柄の構成比は、当ファンドの純資産総額に対する比率です。
- (※2) 本資料における銘柄紹介は情報の提供を目的とするものであり、個別銘柄への投資を推奨するものではありません。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)
追加型投信/国内/株式

運用状況 (作成基準日: 2017年6月23日)

設定来の基準価額の推移



ファンドの状況

基準価額	11,949円
純資産総額	7,613,752,988円
株式組入比率	94.8%
組入銘柄数	85銘柄

※ 基準価額は1万口当たりです。

- ※ 左記のグラフの基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
- ※ 設定日の基準価額は1万口当たりの当初設定元本です。
- ※ 分配金再投資基準価額とは、設定来の分配金(税引前)を当該分配金(税引前)が支払われた決算日の基準価額で再投資したものと計算した基準価額です。
- ※ グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

組入上位10業種

順位	業種名	構成比
1	小売業	14.4 %
2	サービス業	12.4 %
3	情報・通信業	11.7 %
4	電気機器	10.0 %
5	化学	8.6 %
6	機械	7.5 %
7	卸売業	5.0 %
8	医薬品	4.7 %
9	建設業	4.0 %
10	ガラス・土石製品	2.5 %

組入上位10銘柄

順位	銘柄コード	銘柄名	構成比
1	3679	じげん	4.2 %
2	3092	スタートトゥデイ	3.7 %
3	4290	プレステージ・インターナショナル	3.2 %
4	4587	ペプチドリーム	3.1 %
5	6516	山洋電気	2.7 %
6	6284	日精エー・エス・ビー機械	2.1 %
7	4403	日油	2.0 %
8	3076	あい ホールディングス	2.0 %
9	4046	大阪ソーダ	2.0 %
10	4633	サカタインクス	1.8 %

市場・規模別構成比

市場・規模別	構成比
東証1部大型株	0.0 %
東証1部中型株	12.6 %
東証1部小型株	63.8 %
東証1部その他	0.0 %
東証2部	2.3 %
JASDAQ	3.3 %
東証マザーズ	12.9 %

- ※ 業種、銘柄、市場・規模別の各構成比は、いずれも当ファンドの純資産総額に対する比率です。
- ※ 市場・規模別構成比は四捨五入して表示しておりますので、上記、株式組入比率の合計値と一致しないことがあります。

ニッポン成長株オープン(愛称 一等星) ファンドの特色

- 日本の成長が期待される企業の株式※へ投資を行います。
※日本の金融商品取引所上場(上場予定を含みます。)株式を主要投資対象とします。
- 成長企業の選別にあたっては、高い技術力、優れた商品開発力、特徴あるビジネスモデル、事業構造の改革などにより、利益成長が期待される企業を重視します。なお、新興市場の株式に積極的に投資することがあります。
- 銘柄の選定にあたっては、ボトムアップ・アプローチを基本とし、バリュエーション、業績の変化、イノベーション等に着目します。
- 株式の組入比率は高位を保つことを基本としますが、投資環境や市況動向に対応し投資信託財産の純資産総額の0%から100%の範囲で機動的に変更する場合があります。なお、株式の実質組入比率の引き下げを目的として、株価指数先物取引を行う場合があります。



(作成: エクイティ運用部)

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)
追加型投信/国内/株式

ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様には帰属します。ファンドは、国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「流動性リスク」、「信用リスク」があります。
- ※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
 - 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
 - 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時
 - 購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.24%(税抜3.0%)
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
 - 換金手数料：ありません。
 - 信託財産留保額：ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中
 - 運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.6632%（税抜1.54%）
 - その他費用・手数料
 - 監査費用：純資産総額×年率0.0108%（税抜0.01%）
 - 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を信託財産でご負担いただけます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
藍澤証券株式会社	関東財務局長(金商)第6号	○	○		
飯塚中川証券株式会社	福岡財務支局長(金商)第1号	○			
臼木証券株式会社	関東財務局長(金商)第31号	○			
寿証券株式会社	東海財務局長(金商)第7号	○			
篠山証券株式会社	近畿財務局長(金商)第16号	○			
静岡東海証券株式会社	東海財務局長(金商)第8号	○			
島大証券株式会社	北陸財務局長(金商)第6号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○			
新大垣証券株式会社	東海財務局長(金商)第11号	○			
株式会社しん証券さかもと	北陸財務局長(金商)第5号	○			
頭川証券株式会社	北陸財務局長(金商)第8号	○			
大山日ノ丸証券株式会社	中国財務局長(金商)第5号	○			
東武証券株式会社	関東財務局長(金商)第120号	○			
長野証券株式会社	関東財務局長(金商)第125号	○			
奈良証券株式会社	近畿財務局長(金商)第25号	○			
西村証券株式会社	近畿財務局長(金商)第26号	○			
播陽証券株式会社	近畿財務局長(金商)第29号	○			
リーディング証券株式会社	関東財務局長(金商)第78号	○			

<本資料に関するお問合わせ先>

カスタマーサービス部 フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)